

部活動・自主活動特集



①激戦 対東郷高校 ②名古屋地区大会での熱演
③今夏、甲子園への切符をかけた熱戦 ④放送部自由選択講座
⑤インターハイへ向けて日々仲間と共に切磋琢磨 ⑥文化祭へ向けて一心不乱に書く

「仲間」——かけがえのない私の存在。

「勝ちたい」「うまくなりしたい」各々の思いが一つになったときの爆発力はすごかった。

自分のために仲間のために、努力する姿は何よりも輝いて見えた。

共に流した汗と涙は、きっと一生忘れない。

青春の1ページには収まりきれない思い出ができた。

8月21日

黒壁スクエア散策&ガラス体験・長浜城・ドラマ館を満喫したバスツアー

曇り雨の日ではありましたが、早い方は朝7時半に集まっていたいただき、バス2台78名の参加者を乗せて出発しました。午前中は、江のドラマ館と長浜城へ。ボランティアガイドのお話をお聞きしながら、浅井三姉妹との記念撮影などを楽しみました。昼食は、料亭「浜湖月」で近江牛のすき焼き、鮎の甘露煮、ちらし寿司などをいただき、2時間あつという間に感じながら、和気藹々と懇親を深めました。その後は、黒壁スクエア自由散策行動。サンドブラスト体験で自分だけのオリジナルコップを作る方、喫茶店でゆっくりお茶を飲んだり買い物をしたりする方、様々でした。

行きバスでは、恒例の同朋クイズ、帰りのバスではビンゴゲームを文化委員さんが進行してくださり、大変楽しくバスツアーに行ってきたことができました。(教諭/日々)



第35回 地域懇談会 2011年度地域懇談会を振り返って

今年も7月上旬の土曜日・日曜日に26地区で地域懇談会が開催されました。35回を迎えた同朋高校の地域懇談会が多くの父母、卒業生、OB父母に支えられて今年も成功裏に終わったことを感謝したいと思います。現役父母の約3割が毎年参加して行われる地域懇談会は県下でもまれな取り組みです。特に今年度は、卒業生やOB父母の体験発表が多く企画され、そのどれもが好評でした。不登校を克服した経験や卒業後の活躍の話だけではなく、受験体験記や受験生を持った父母の体験記など内容も幅広く広がっています。下級生父母の心配や相談に上級生や卒業生の父母が親身に相談に乗って話し合った様子が回収されたアンケートや感想文からうかがえました。12月10日(土)には地域懇談会でも出された各地区の意見を学校の教育づくりにつなげる「同朋教育フォーラム」も実施されますので、こちらにもご参加いただけますようお願いいたします。(教諭/瀧)

地域懇での感想の一部

■先輩の保護者の方の話聞いて、なるほどとも思うことがありました。解らないことや不安なことをこちらからきっちり聞いてあげたりすることができれば良いのですが、なかなかそこまで踏み込むことができないのが現実です。ある程度、子供自身が自分で言えるようになってくれるといいなと思い、また、そういうことが言えるように導き出していただけたらうれしいです。公立と違いすごく密だと思いましたが、馴れ合いすぎてもどうかと思うところもあります。良い距離をもって、子供に対して的確にことばをかけてほしいと思っています。(犬山・瀬戸・尾張旭)

■同学年、異学年、OBの方までいろいろな意見悩みなど聞くことができ、大変有意義な時間を過ごせました。特に進路の事については、まだ未知数なので、とても参考になりました。自分が経験した時期と息子の時代とは違うようなので、正直戸惑っていますが、この様な会を参考にさせていただき、今後役に立てていきたいと思っています。(名古屋南東部)

■初めて参加させていただきました。日々忙しくなかなか向き合うことのできない中、先生をはじめお母様方からいろいろなお話を伺う事ができ、楽しい時間を過ごせました。皆さん、年頃の子供を持つ親としての不安、接し方など共感を持ったり、学ばせて頂いたり有意義な時間が持てたことに感謝しています。(中川B)



■懇談会という名だけで避けてしまうところがありました。学校側の一方通行で話を聞くだけの様なイメージを持っていました。でも、参加してみて父母の方の意見が聞けてとても良かったです。学校から遠い地域なので、通っている子も少ないのか参加者が少なかったのだと少しがっかりしましたが、その分皆さんとの先お話をする機会もあるかと思えます。(名古屋東部・中部)

Schedule (行事予定)

10月	
18 火	2学期中間考査(～21日(金))
27 木	後期クラブ総会
29 土	中学生向け学校説明会
11月	
5 土	5日(土) 自由選択授業⑥
9 水	生徒会立会演説
12 土	中学生向け学校説明会
18 金	音楽科公開実技試験
20 日	音楽科体験入学
25 金	報恩講
29 火	2学期末試験(～10/2(金))

生徒会役員新体制

前期生徒会選挙の結果、74%の生徒が投票し以下の生徒が選出されました。

現在このメンバーで生徒会は活動しており、まずは文化祭の成功、1,2年生の標準服自由化に向けて日々取り組んでいます。

(教諭/岡田)

会長	杉本 悠貴	208
副会長	有川 諒	201
	大藪加奈子	203
執行委員	谷口 奈々	203
	本間絢一郎	101
	前田悠紀子	106
	福手 千佳	109

震災募金ご協力ありがとうございました

9月10日の学級懇談会にて生徒会の震災募金にご協力ありがとうございました。集まった金額は40,639円にもなりました。この募金は愛知ボランティアセンターを通じて被災地の震災遺児の奨学金として寄付させていただきます。

同朋生、青春の1ページ

毎日暗くなるまでボールを追う姿、投げられても投げられても立ち向かう姿、納得するまで繰り返し返す姿、たくさんのクラブが毎日遅くまで練習に励んでいます。新たな記録を残すために、鮮やかな記憶を残すために、日々の努力を重ねます。ここでは、そんな頑張る姿を紹介していきます。

柔道部

「柔道とわたし」

209 山本 ももこ
(いなべ市立藤原中学出身)

私が柔道を習い始めたのは4歳の時でした。兄がやっていた影響もあり、父の指導のもと柔道を始めました。私の家族は5人家族で父、母、兄、妹でみんな柔道をしている柔道2家です。毎日柔道つくしで友だちと遊べなかったりして嫌なこともたくさんありましたが、小学5年、6年生のとき全国大会へ出場することができました。中学生になつて、地元で中学に入り、父の指導の下3年間頑張ってきました。中学2年で全国大会出場を決めたけど足の骨折で欠場になり、悔しい思いをしました。でもその悔しさをバネにして3年も全国に出場が決まり大会ではベスト8になることができました。でも、もっと強くなりたいと思つたし、全国優勝したいと思つた私は、県外へ行くことに決めて愛知で有名な同朋高校に入学することにしました。しかし、中学3年の冬に膝を手術したこともあり、入学しても半年間柔道ができませんでした。毎朝4時に起きて始発に乗ったり、1年生の仕事をしたり大変だったこと、みんな柔道をしているのに自分だけできないという

のがとても辛かったです。1年の9月によく復帰ができたときは、とても嬉しかったです。しかし、半年間練習ができなかったぶん、みんなに追いつくに必死でした。でも、先輩たちに励まされ毎日頑張ってきました。そして、2年生の夏の県大会で優勝することができ、8月に秋田で開催されたインターハイに出場しました。結果はベスト16で残念な結果でしたが、負けた分学べたことがたくさんありました。その学べたことをしっかりと忘れずに3年の夏の県大会にのぞみたいですね。そして、チーム丸となつて毎日練習に励み、3年間の高校生活を充実させたいと思います。

乗馬部

「今年も出場インターハイ」

304 成田 真矢
(南陽中学出身)

私たち乗馬部は、毎日大治馬場で練習しています。大治馬場は学校から自転車で行くところ、馬の世話も自分たちで行っています。当番を自分たちで決めて、毎日交代で行っています。当番の仕事は、エサあげ、馬房(馬の部屋)の掃除が主なものです。朝が早いので大変ですが、みんな馬が好きなので頑張



れます。

6月にはインターハイの東海地区予選がありました。結果はなんと、減点ゼロでグループの1位通過でした。私たちはこれで8年連続のインターハイ出場となり、とても嬉しかったです。インターハイ本戦は7月に静岡県の御殿場市で行われました。この本戦では初戦の3校対抗戦で敗退してしまいました。とても悔しかったですが、私たち3年生は、来年もインターハイに出場できるように、先輩たちをサポートしたいと思います。そして来年こそは初戦を突破し、上位を目指して欲しいと願っています。

現在、乗馬部の部員数は、3年生が引退したので5人になりました。馬の頭数は3頭なので世話をするのが大変ですが、私たち3年生も当番に入るなどして部活動を手伝っています。馬とふれあうのはとても楽しいものです。馬に乗ることは誰にでもできます。馬に少しでも興味があったら、ぜひ乗馬部に見学に来てください。部員も募集しています。乗馬の経験、未経験は問いません。初心者でも大丈夫です。おとなしくてかわいい馬たちが待っていますよ。



蹴球部

「私たちの3年間」

306 福井 紫野
(本城中学出身)

愛知県高等学校女子サッカー選手権大会、準々決勝。0対2。試合終了のホイッスルと同時に、私たち3年生の夏が終わりました。試合終了と同時に、私たちの思いが込み上がってきました。私はキャプテンとしてチームに何ができるのかすごく悩んだ時期がありました。チームをまとめることができず、試合をやつても連戦連敗。チームを抜きたいという仲間もいました。なかなかうまく進むことができなくて、本当に大変で、今思うと、本当にいろいろなことがありました。

昨年の3年生が引退して、新チームになつてから私たちの先生たちが私たちの部活への想いを評価し、応援してくれました。もつとたくさんの人たちから応援してもらえよう、標準服をきちんと着ることや挨拶など、生活態度から変えていこうとみんなで話し合い、決めました。最初は周りの目もすごく気になり、「いきなりどうした」なんて思われるのがすごく嫌で、正直自身がつく抵抗があつたし、意見のすれ違いでぶつかることも度々ありました。しかし何度でも何度もミーティングを重ねていくうちにみんなの気持ちも変わり、つになつていきました。先輩たちが創りあげてきた女子蹴球部をもつと、いいものにしてしようと考え始めました。同時に県大会ベスト4という目標も掲げました。

最後の夏、結果は私たちの目標には届かず県大会ベスト8に終わりました。しかし、私たちは、勝つためには、気持ちが大切だということをこの大会を通して改めて実感することができました。今まで、一度も勝つ



たことなかったチームにも勝つことができ、遥かにレベルが高いチームとは引き分けの末PK戦負けという僅差の試合ができました。たくさんの衝突や壁を乗り越え、話し合い、様々な問題もみんなと解決し、きつい練習にも耐え、切磋琢磨し頑張ってきたことでみんなの気持ちがあつになりました。全員が良いイメージ、強い気持ち、女子蹴球部のスローガンの「Enjoy & Smile」を持って試合に臨むことができたので、この結果に繋がったのだと思います。

ラグビー部

「感謝の気持ち」

303 栢木 佳祐
(萩山中学出身)

ラグビー部は、3年生9人を中心として2年生1年生、そしてマネージャーと団結したチームです。1月の新人戦、4月の総体とどちらとも名南支部で優勝し、総体では県大会ベスト8まで進出しました。自分たちの目標としている「花園」まで確実に近づいています。先日、花園をかけた愛知県大会の予選が始まりました。自分たちはシード権を獲得し3回戦からのスタートです。このような成績を残し続けてきたので、誇りとプライドを胸に戦っていききたいです。そして、自分たちに期待して下さっている先生方やコーチ、OBの方々、父母の皆様に応えられるように日々努力し、ユニフォームパンツにも書いてある「感謝」の気持ちを忘れずに戦い、戦勝ち進んでいききたいと思います。応援よろしくお願いします。

Club & Award News

柔道部

- 男子団体(県4位)、女子団体(県2位)県大会出場
- 男子団体、女子個人東海大会出場(6月18日 浜松)
- インターハイ出場女子個人(78kg級) 山本ももこ(209)
- 国民体育大会 愛知県代表チーム 柔道 少年女子 海島亜梨沙(304)
- 私学祭柔道 女子団体 同朋A 優勝 同朋B 3位
- 女子個人 中村 綾 65kg級 準優勝 3位 岩崎理香子 70kg級 3位 山本ももこ 78kg級 優勝 中村 友美 70kg級
- 柔友旗高校新人柔道大会 女子 優勝

野球部

- 第64回愛知県高等学校野球選手権大会 名古屋地区Fブロック優勝(県大会進出)

サッカー部

- 県大会出場、名南支部サッカー大会優勝

ラグビー部

- (県Best8)、市民スポーツ祭(兼久野杯) 準優勝

女子サッカー

- 愛知県U-18フットサルリーグ 名古屋女子サッカー交流大会優勝

県新人体育大会水泳大会

- 近藤健斗 100mバタフライ県大会出場

愛知県高等学校職業教育技術顕彰

- | | | |
|-----------|---------------|-------|
| 3年商業科生徒 | 28名に知事より認定証授与 | 鈴木見彩子 |
| 309 川井 康裕 | 浅尾 真弥 | 渡邊 梓 |
| 矢野沙也加 | 山田 実穂 | 中島 駿 |
| 310 今川 学 | 塚田 政和 | 河村 有紀 |
| 湯澤 充祥 | 門脇 夏美 | 本多奈都美 |
| 喜多帆乃香 | 島田有季乃 | |
| 311 山崎 加澄 | 有川 由衣 | 片淵 夏妃 |
| 深津 祐貴 | 小高峯里紗 | 服部 弥佳 |
| 片山 早智 | 細野かんな | 松浦麻衣香 |
| 藤本 梨乃 | 水野 亜美 | 横山おろえ |
| 米満 舞 | | |

おーいお茶俳句大賞入選

- | | | |
|-------|------------|------------|
| 佳作特別賞 | 藍谷 和奈(203) | 松本 恭佳(210) |
| 佳作 | 加藤 華奈(211) | 梅元 貴弘(204) |
| | 谷元 大樹(201) | 神村あずみ(205) |
| | 東 悠人(207) | |

「第16次 平成の遣中使」として中国訪問(9/20~24)

- 杉浦健斗(303)



この一瞬に懸ける生徒たち



注目 頑張っている君に...

ソフトボール部

307 山岸 知秋
(日比野中学出身)

Q4 チームの雰囲気は今どうですか？

とても明るく元気で、厳しい中にも楽しさの活気溢れる雰囲気です。

Q1 ソフトボール部に入ろうと思ったのはなぜですか？

先輩たちの雰囲気がとても楽しそうだったし、第一ソフトをやりたいかったからです。

Q2 ソフトボールの魅力は？

チームワークが良ければ良いほど、一人一人の大切さが分かり試合や練習がすごく楽しくなります。

Q3 普段の練習の様子を教えてください。(主に部活動の様子をお願いします。)

平日は基礎練習を中心に、土・日は他校と練習試合をするなど、みんな県大会出場に向けて一生懸命、積極的に取り組んでいます。

Q5 あなた個人の目標と部全体としての目標・方針を教えてください。

「がむしやりに」これが私のモットーでした。公式戦でも練習でも常にこのモットーを胸にやっています。引退した今でも、このことは変わりません。

Q6 今までの部活動の中で一番うれしかったこと、苦しかったことを教えてください。

7月後半のオール尾張選手権で、宮商業を相手に初勝利をあげたとき、何とも言えない喜びがありました。リードしてリードされての試合でしたが、チーム全員の「負けたくない」という気持ちがこの勝利につながったのだと思います。チームメイトと監督、そして顧問の先生は言葉では表せない喜びで涙しました。その時の嬉しさは、一生忘れないものだと思います。今でも、チームのみんなや監督、顧問、コーチにはとても感謝しています。

Q7 部活動の後輩に向けて、メッセージをお願いします。

私たち3年生が引退して、また1からスタートかもしれませんが、チーム全員で目標を立て、それに向かってみんな頑張してほしいと思います。ちゃんと話し合っただけ協力しながら、私たちの時のチームよりもっと良いチームを作ってください。陰ながら支え、応援しています。

演劇部

308 加藤 杏子
(清須市立清洲中学出身)

Q1 演劇部に入ろうと思ったのはなぜですか？

体験入部のとき先輩方がものすごく個性的な人ばかりで楽しそうだったので。

Q2 演劇の魅力は？

お客さんに「おもしろい」と思ってもらうために、真剣にくだらないことを考えて真剣に討論することです。

Q3 普段の練習の様子を教えてください。(主に部活動の様子をお願いします。)

毎日舞台上で活動しています。主に筋トレや発声練習。また、次の公演へ向けて舞台装置を作ったり、音や照明を考えたりのうたやたのしみもいろいろなるかを真剣に話し合い、演技を考え練習しています。

Q4 今までの作品の中でこれを見てほしいというのがあれば教えてください。

「銀河旋律」作 成井豊、2010年夏の大会で上演し、県大会出場した作品。過去を変えられ、恋人と別れさせられてしまったコースキヤスターの柿本が恋人を取り戻すため、タイムトラベルを繰り返す話。

Q5 あなた個人の目標とチームとしての目標・方針を教えてください。

目標…お客さんに笑顔で帰ってもらおう！
 方針…みんなが劇をつくる！

Q6 今までの各大会の中で一番うれしかったことを教えてください。



Q7 部活動の後輩に向けて、メッセージをお願いします。

初めての自主公演の3日前にキャスト、スタッフとも大人数がインフルエンザにかかってしまい、公演が危ぶまれることに。話し合いの結果、お客さんを集めてしまっているのを中止にするのは失礼だという結論になりました。キャスト3人、代役をたて3日で台詞を覚え上演しました。たくさんのお客さんが来てくれて、演劇に興味のない人が見ておもしろいと言ってくれた時、無理してやって良かったと思います。





オーストラリア・ホームステイプログラム

8月6日(土)から21日(日)までの16日間、1年生3名、2年生8名、3年生2名の計13名と引率教員2名で、オーストラリアへ短期語学研修プログラムに行ってきました。

天気にも恵まれ、自然豊かなオーストラリアで日本とは異なる生活に生徒たちは最初は戸惑いながらもすぐに溶け込み、積極的にいろんなことを挑戦していました。

残念ながら今回参加できなかった生徒たちも、来年には今回お世話になったUnity collegeの生徒が同朋高校に来てくれホームステイも予定していますし、日常の英語学習を思う存分試し楽しく国際交流に動んでもらえればと思います。

(教諭/尾崎)



「一番印象に残っていることは、とにかくオーストラリアの人は前向きで温かい心を持っているということ。言いたいことがなかなか伝わらないとき、申し訳なく



接してくれたり、私の行きたい所へ連れて行ってくれたり、毎日とても充実していた。このプログラムに参加するのは今年で2回目だった。そのため、私のホストファミリーは去年と同じだったので、ステイ中は自然体でいれた。本当の家族のように接してくれたり、私の行きたい所へ連れて行ってくれたり、毎日とても充実していた。

私は、今回のホームステイプログラムにすごく特別な思いで参加した。本当はこのプログラムには参加できない予定だった。でも私は周りの人や親を説得して行かせてもらった。なので、とても特別な気持ちだった。

私はオーストラリアへ行く前まで進路が全く決まっていなかった。大学か専門学校に進学か就職かすら決まっていなかった。なのでこのプログラムを通じて、「自分は何がしたいのか」を確かめたかった。

309 矢野沙也加 (本校中学出身)

「日本なんか」と思っていたけど、今年来て観て日本は日本で素敵な国なんだと感じることができた。もちろんオーストラリアもすごく素敵な国だけど日本も負けてないと思った。

オーストラリアへ行って、ハグですごくいい行動だということに気がついた。日本人はハグという恥ずかしさや、握手もハグは握手より10倍心がかもつていて素敵な行動だと思っ。



私が今回のプログラムで学んだことは、こ

なつて謝ったら「謝らないで。私は英語もかしゃべれないの。でもさやかは日本語も話せて英語で会話だってできる。だから、さやかは私よりすごいよ。」って言うてくれた時、「なんでこんなに前向きな考えができるんだろう」と尊敬した。道を歩くと周りの人がチラチラ見てくるのを私は「私と一緒歩いて恥ずかしくないのかな」と思っていたら「さやかが来てくれて私たちは本当に幸せよ」というてくれて、その言ですごく気持ちが軽くなった。

去年オーストラリアへ行ったときは、「日本なんか」と思っていたけど、今年来て観て日本は日本で素敵な国なんだと感じることができた。もちろんオーストラリアもすごく素敵な国だけど日本も負けてないと思った。

オーストラリアへ行って、ハグですごくいい行動だということに気がついた。日本人はハグという恥ずかしさや、握手もハグは握手より10倍心がかもつていて素敵な行動だと思っ。

「英語上手だね」と褒めてくれたこととか、景色とか、今まで見たことないくらい大きな虹が見れたとか、星がすぐくきれいだっただとか、ホストマザーの料理の味とか忘れないでいたいと思った。オーストラリアへ行って、たくさん褒められて、たくさん笑って、たくさんありがとうと言った。行く前に「笑顔でいよう」と決めていたけれど、笑顔でいようと思っって笑顔を絶えなかった。自然と笑顔になった。日本では絶対得られない気持ちや体験ができて本当に幸せな時間を過ごせた。進路も無事やりたいたことが決まった。今回の研修に参加できたこと、オーストラリアへ行かせてくれた両親、最後までサポートしてくれた先生やメンバーに心から感謝しています。ありがとうございました。

の枚数の作文用紙では書ききれないほどある。少しのことでも感謝する気持ち、お互いのことをちゃんと理解しようとする意識や自分の意見をちゃんと言うことなど大切なことをたくさん学んだ。

「英語上手だね」と褒めてくれたこととか、景色とか、今まで見たことないくらい大きな虹が見れたとか、星がすぐくきれいだっただとか、ホストマザーの料理の味とか忘れないでいたいと思った。オーストラリアへ行って、たくさん褒められて、たくさん笑って、たくさんありがとうと言った。行く前に「笑顔でいよう」と決めていたけれど、笑顔でいようと思っって笑顔を絶えなかった。自然と笑顔になった。日本では絶対得られない気持ちや体験ができて本当に幸せな時間を過ごせた。進路も無事やりたいたことが決まった。今回の研修に参加できたこと、オーストラリアへ行かせてくれた両親、最後までサポートしてくれた先生やメンバーに心から感謝しています。ありがとうございました。



夏休みつ

みんなでBBQ行ってきました〜!!!

8月24日に1年生のクラス連合BBQを行いました。普段は教室で自由服や文化祭についての話し合いをしているメンバーですが、今回は夏休みということで岐阜県多治見市の地球村に行き、自然の中での活動となりました。参加者は生徒23名、教員8名の32人。内容は名前を暗記していく自己紹介ゲームから始まり、さまざまなレクリエーションとBBQを行いました。BBQでは火起こし、野菜の調理、おにぎりづくりなどグループに分かれて準備をしました。午後のレクでは「こんなクラスがいい!」というテーマでそれぞれの意見を共有し、そのクラス像を実現するために自分たちにできることを考えて終わりました。

(教諭/松田)

最後に参加生徒の感想を紹介します。

みんなで協力してBBQをするのは大変良かったと思う。クラスの意見のレクではみんなの考えることが知れたし、知らない子と触れ合うことができてうれしかったです。参加してみて本当に良かった!クラスを越えて仲良くなった子もいてうれしかった!



白馬セミナー(学習合宿)に行ってきました

33名が本気で学んだ4泊5日でした

7月29日から8月2日までの4泊5日、「白馬セミナー」参加希望の生徒33名と7名の教員とで、長野県に「進学合宿」に行ってきました。「英語・商業(IT・パスポート対策)」、「現代文・数学」、「古典・化学・商業(日商簿記検定対策)」と科目を選択して学んだ生徒たちは、それぞれの科目で真剣に学びました(感想は左記)。

生憎の天候であったため、美しい風景が見られる日はそれほどありませんでしたが、涼しい空気(冷房や扇風機も不要)と美味しい食事、一緒に学ぶ仲間たちの中で、参加した生徒たちは真剣なまなざしを学んでいました。今回の合宿に参加したことでは、学力が飛躍的に向上するというわけではありません。しかし、「学ぶとはどういうことか」、「こんなに頑張っている子たちが、自分以外にもいる」ということは、参加した子たちの今後の学びの姿勢に表れてくるでしょう。

不可能を可能にしたのは仲間存在

(教諭/寺町)

208 桑村 大

(東浦町立東浦中学出身)

僕は、この白馬で学んだことがつあります。それは、限界は自分が作るものだという事です。

この5日間、週の2・3日目は教室で勉強をした時間だけで、おおよそ8時間30分



ありました。また、部屋で勉強した時間を合わせるおおよそ10時間、1日に勉強をしていました。こんなことをするのは、今までは不可能だと自分で決めつけていました。ただ、やはり周りに仲間がいたから可能にすることができました。これが家ならとてもではないですがやれないと思います。

今までは家でしか基本的には勉強をしませんでしたが、周りに人がいる図書館や、周りにいる仲間が勉強している姿を見て、勉強するのにもメリットがありそうだと思っました。

自分の考え方が変わって広くなり、自分の可能性を二つ知った、とても充実した白馬合宿でした。

